

MTG-DUAL-TAB nanoBT J2534ソフトインストールガイド

Bluetooth 対応版

重要: ご使用前に必ずお読み下さい。

この度は MTG-DUAL-OBDDUP 及び MTG-DUAL-OBDDKIT をご購入いただき誠にありがとうございます。本書を参考にJ2534オプションソフトのダウンロードとインストールを実施して下さい。

1. MTG-DUAL-OBDDKIT の確認

製品がすべて揃っていることをご確認ください。

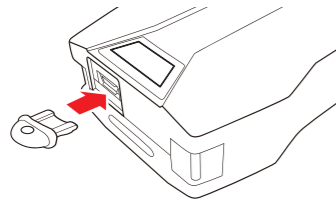


- micro USB ケーブル 3m (1本)
- micro USBポート保護キャップ (1個)

- OBD 検査用ツールとしてご使用いただくには、MTG-DUAL-OBDDUP と MTG-DUAL-OBDDKIT の両方が必要です。
- セット内の製品は品質向上のため予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

2. 付属品の装着

1. micro USBポート保護キャップ 装着図

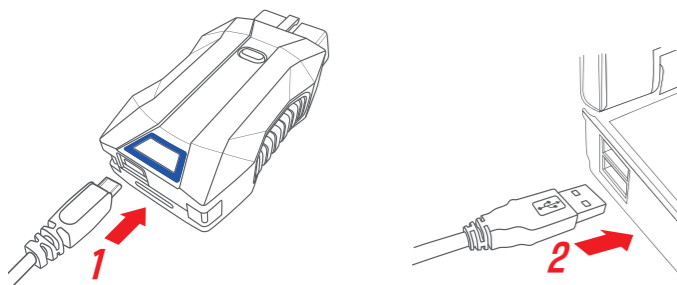


micro USBケーブルを使用しない場合は、本体に micro USBポート保護キャップを装着してください。

- micro USB ポート保護キャップは紛失しないようご注意ください。
- 紛失した場合、検査用機器として認定されなくなる場合があります。

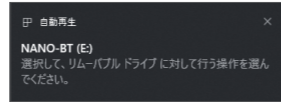
3. パソコンとの接続とファイルの表示

- 付属の micro USB ケーブルを使用して本体のmicro USBポートとパソコンのUSBポートを接続します。本体のステータスランプが青色に点灯します。

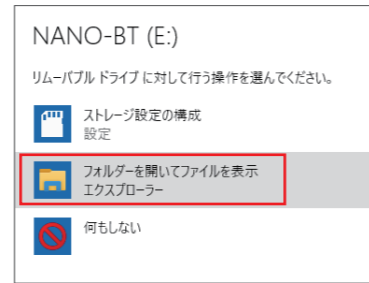


- パソコンとの接続は、必ず付属の micro USB ケーブルをご使用ください。
- インターネット接続されているパソコンで実施してください。

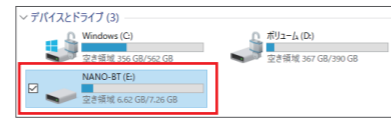
- 本体が「NANO-BT」の名称でパソコンに認識されます。



- 「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックして本体内のファイルを表示します。

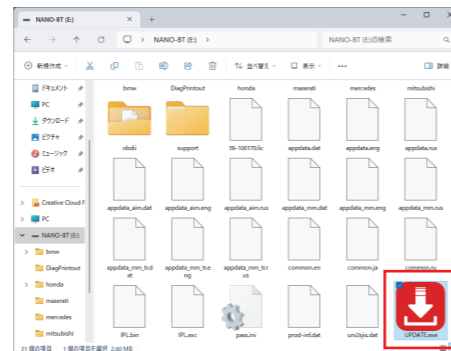


- 自動再生が有効でない場合は、PCの「デバイスとドライブ」から「NANO-BT」を開いてください。

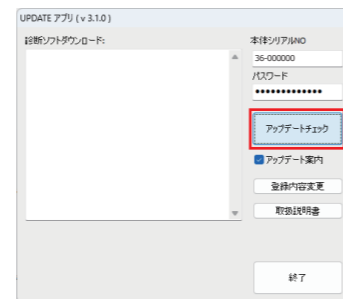


4. アップデート

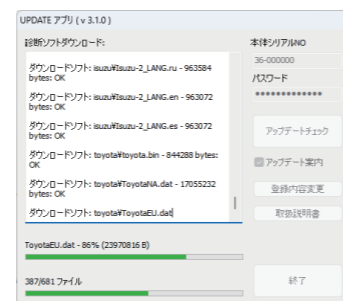
- 表示されたファイル一覧から「UPDATE.exe」ファイル(.exeは拡張子)を開きます。
※UPDATEプログラムはWindows10以降に対応しています。



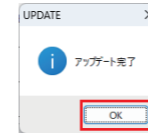
- 「Update アプリ」の [アップデートチェック] をクリックします。



- ダウンロードが開始され、本体内に保存されます。



- アップデートが完了すると「アップデート完了」が表示されます。[OK]をクリックしてアプリケーションを終了してください。



- 「書き込みできません」のエラーが表示された場合は、セキュリティソフトにより外部記憶媒体への書き込みが禁止されていないか確認してください。
- 管理者権限のあるアカウントで実行されているか確認して下さい。

- 以上でアップデートが完了しました。次にOBD検査で使用されるパソコンに「J2534 Utility」をインストールします。

初めて「J2534 Utility」をインストールされる方
➡「6. J2534 Utility のインストール」へ進んでください。

以前のバージョンをインストールされている方
➡「5. J2534 Utilityのアンインストール」へ進んでください。

注意

セキュリティソフトについて

本体をパソコンに接続した場合、「UPDATE.exe」(アプリケーション)を実行した場合に、セキュリティソフトが反応してアプリケーションを削除、または隔離したり、通信をブロックすることがあります。その場合はセキュリティソフトの設定を変更していただく必要があります。

UPDATE.exe (アプリケーション) について

万が一アプリケーションが削除された場合は、下記リンク先よりダウンロードして、本体内に保存してください。

<http://scantool.jp/downloads/update/UPDATE.exe>

アップデート時のエラーについて

「書き込み出来ません」などのエラーが発生してアップデートが正常に行えない場合は、セキュリティソフトの設定を確認していただくとともに本体内部メモリのフォーマットが必要な場合があります。フォーマット前にアップデート期間内であることをご確認ください、以下のファイルをパソコンにコピーして保存してください。

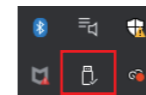
- UPDATE.exe (アプリケーション)
- pass.ini (構成設定ファイル)

保存後フォーマットを行います。フォーマット後保存した2つのファイルを本体内部メモリに戻して再度アップデートを行ってください。

取り外すには

「ハードウェアの安全な取り外し」を実行した後に取り外してください。

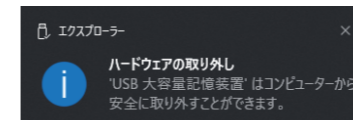
- タスクバーから「隠れているインジケータを表示します」 を選択します。
- 「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。



- 「OBDII SCAN TOOL の取り出し」をクリックします。



- 安全に取り外すことができるようになりました。



5. J2534 Utility のアンインストール

- タスクバーのWindowsマークをクリックし、次に [設定] をクリックします。(Windows 11の場合)

- [アプリ] - [インストールされているアプリ] の順にクリックします。



- 一覧から [TP_J2534] を選択して、右端の3点アイコンをクリックして選択項目から [アンインストール] をクリックしてアプリを削除してください。

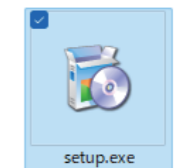
6. J2534 Utility のインストール

- 以下の手順はOBD検査でご使用されるパソコンで行います。本書の「3. パソコンとの接続とファイルの表示」を参考に本体とパソコンを接続してください。

- アップデートが正常に完了すると、本体内に「J2534 Utility」が保存されます。「support」→「cgi」→「win-app」→「j2534-util」の順にフォルダを開きます。

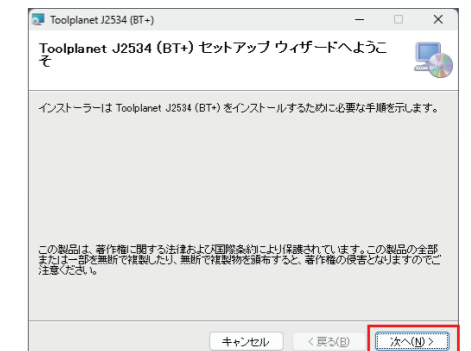


- 「j2534-util」フォルダ内の「setup.exe」をダブルクリックして実行します。

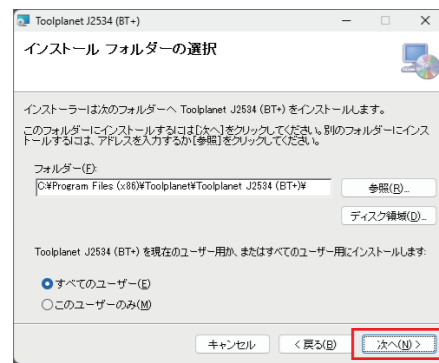


- ファイルを実行する操作については、ご使用のパソコンの設定に従ってください。

- インストーラーが起動します。[次へ]をクリックします。

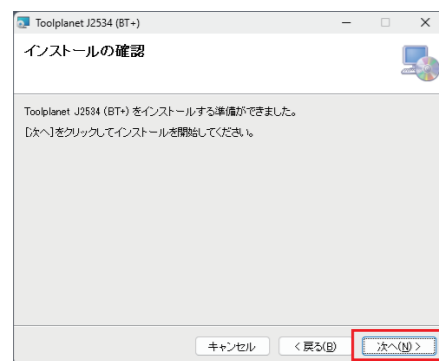


4. インストール先を確認するダイアログが表示されます。
[次へ]をクリックします。

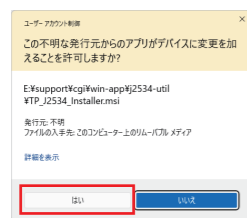


- インストール先を変更する場合は [参照] をクリックして保存先を指定してください。

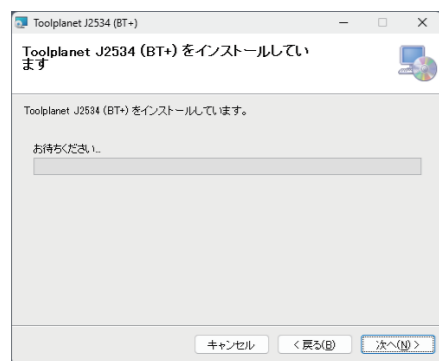
5. [次へ]をクリックしてインストールを開始します。



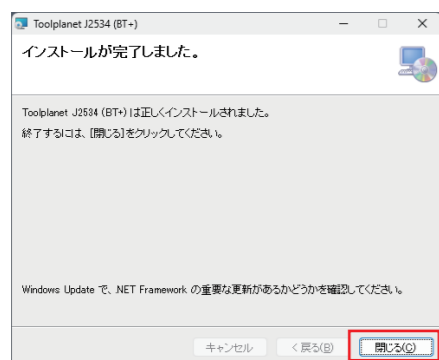
- 下記ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は [はい] をクリックして許可してください。



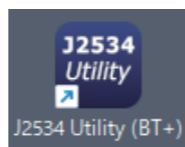
6. インストールが始まります。



7. インストールが完了しました。[閉じる]をクリックして終了します。



8. インストールが完了するとデスクトップに「J2534 Utility」のショートカットが生成されます。

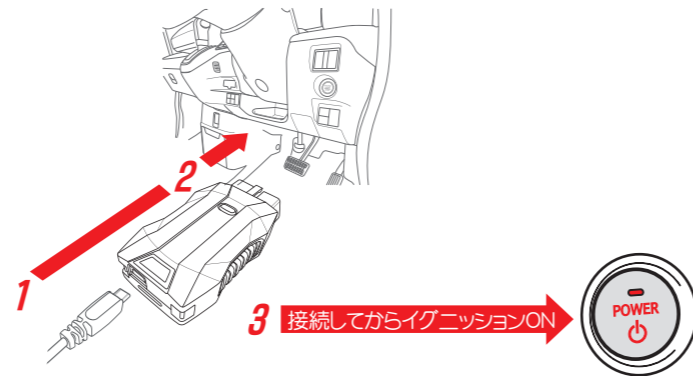


- インストール完了後は「ハードウェアの安全な取り外し」を実行して、一旦本体を取り外してください。

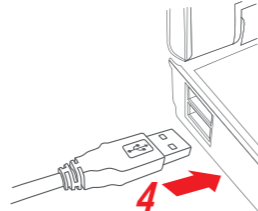
7-A.【有線】車両と本体およびパソコンの接続

無線接続で検査を実施される場合は「7-B.【無線】車両と本体およびパソコンの接続」へ進んでください。

1. 付属の micro USB ケーブルを本体の micro USB ポートに接続します。車両がイグニッション“OFF”であることを確認して、本体を車両の OBD2 コネクタに接続します。その後、イグニッション“ON”または必要に応じてエンジンを始動してください。



2. 本体に接続した micro USB ケーブルの片方をパソコンの USB ポートに接続します。



- micro USB ケーブルは必ず先に本体に接続した後、パソコンに接続してください。順番を間違えると認識しない場合があります。

- パソコンとの接続は、必ず付属の micro USB ケーブルをご使用ください。
• 初回接続時は「デバイスのセットアップ」ダイアログが表示され、セットアップは自動で実行されます。「デバイスの準備ができました」ダイアログが表示されセットアップが終了するまでお待ちください。

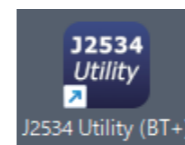
7-B.【無線】車両と本体およびパソコンの接続

1. 車両がイグニッション“OFF”であることを確認します。本体を車両の OBD2 コネクタに接続してからイグニッション“ON”または必要に応じてエンジンを始動してください。

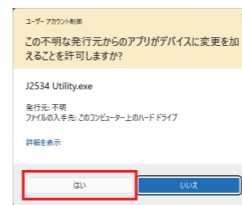


8. J2534 Utility で本体をパソコンに登録

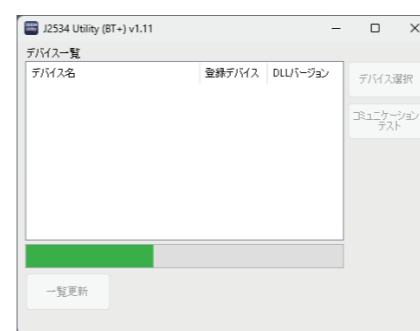
1. デスクトップの「J2534 Utility」を起動します。



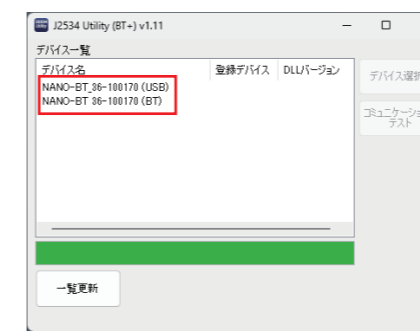
- 下記ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は [はい] をクリックして許可してください。



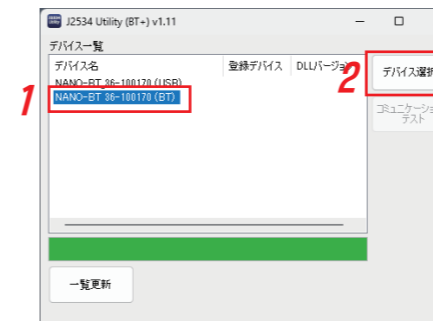
2. 起動すると、接続されている本体(デバイス)の検索が開始されます。



3. 接続した本体がデバイス一覧に表示されます。

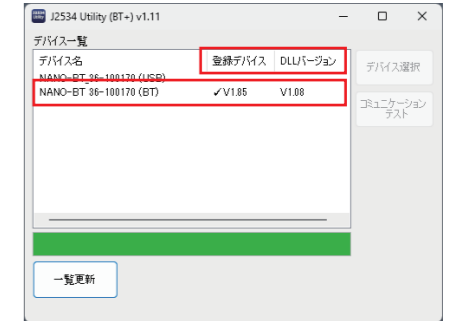


4. 接続した本体のシリアル番号とデバイス一覧に表示されたシリアル番号が一致していることを確認して、デバイス名をクリックして選択 [デバイス選択] をクリックします。



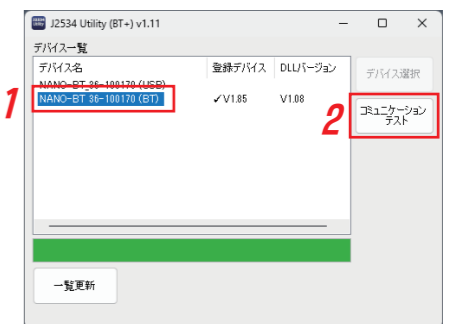
- 本体のシリアル番号は本体裏面のシールに記載されています。
例) S/N : 36-000000
• パソコンへの接続方法によって、該当する方を選択してください。
有線で接続した場合 : NANO-BT_36-XXXXXX (USB)
無線で接続した場合 : NANO-BT_36-XXXXXX (BT)
※BT : Bluetooth

5. 「登録デバイス」「DLLバージョン」欄にバージョンが表示され、接続された本体がデバイスとして登録されました。

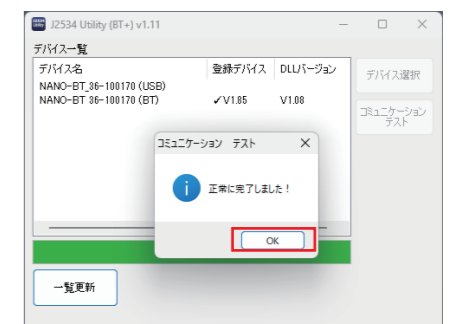


- ユーティリティに表示されている名称の意味は以下の通りです。認定されているバージョンであることをご確認ください。
• 登録デバイス : ファームウェアバージョン (V1.85)
• DLLバージョン : ドライババージョン (V1.08)

6. 続いてコミュニケーションテストを実施します。デバイス名をクリックして選択 [コミュニケーションテスト] をクリックします。



7. テストが完了すると、「正常に完了しました！」ダイアログが表示されます。[OK]をクリックしてダイアログを閉じ、「J2534 Utility」を [X] をクリックして終了します。以上でセットアップは完了です。



8. 「特定 DTC 照会アプリ」を起動して OBD 検査を行ってください。

- 特定 DTC 照会アプリについては「OBD 検査ポータル」サイトをご覧ください。
• セットアップが完了したデバイス名 (「NANO-BT_ シリアル番号 (USB または BT)」) が特定 DTC アプリの検査用スキャンツール欄に表示されます。1台のパソコンで複数台セットアップされている場合はプルダウンリストから現在接続されているデバイスを選択してください。